

Profile

Diana Jenkins

TN Female Human(Taldan) Arcanist

飼ってた猫が突然喋り出して、魔法の力を授かった系魔法少女。

Epilogue

エルヴァナを倒した後、わたしはバーバ・ヤーガの力を借りて、お師匠様とお師匠様の命を探す旅を続けました。

それは今までの雪国を巡る旅ともハットの中の探索ともまた違った、様々な次元世界を巡る旅で、本来の力を取り戻してゆくお師匠様からわたしも次元移動の術や他にも色々な魔法を学びました。

そしてついにお師匠様が全ての力を取り戻し、人間の姿 紳士服を纏ったダンディなおじ様でした。イギリス紳士というらしいです で私と別れて元の世界に戻ることになりました。

「本当に良いのかい、ダイアナ？」

「わたしが付いて行って迷惑になってはいけませんし」

「前にも言ったと思うけれど、私の周りはその事を気にしない者達ばかりだよ」

「はい...でもいいんです」

それなら仕方はないが、とお師匠様は言いました。

「君はもう十分立派な魔法使いだ。私がいなくても何不自由なくやっていけるだろう。

ただ、強い力というものは得てして人を捻じ曲げるものだ。君も力に振り回されることのないよう、自分をしっかり持つと良い」

そうしてお師匠様は行ってしまいました。

わたしは魔法使いになりました。

もう他の魔術師の子供達にいじめられて泣いていた昔のわたしではありません。

なんだって...きつとなんだって出来ます。

でもわたしには、わたしがこれから魔法で何をしたいのかよく分かりませんでした。

敵を倒すこと？他の人を助けること？もっと魔法を学ぶこと？

分かりませんでした。

ただ今までの旅の中でしてきた、どんな風に魔法を使ったら効率的かを考えたり、敵の魔法への対処を考えたりするのは好きでした。

わたしはもっと魔法を使いたい。

わたしは一人でも旅を続けることにしました。

そしてどれ位か経った頃、わたしは久しぶりにゴラリオンに戻って来ました。

時間の流れの違う次元世界にもいたせいか、ここでは100年近くもの歳月が経っていました。
...あの時最後にエルヴァナと戦ったのは楽しかったなあ。
皆まだ元気だろうか。

わたしはバーバ・ヤーガと一緒に探した皆の消息を尋ねに、イリセンへ向かいました。

Background

Jenkins 家は Taldor の名門貴族に仕える Wizard を輩出したこともある、魔術師の家柄である。
しかし Diana には魔術の才能がなく、いくら訓練を受けても魔法を使うことが出来なかった。
そのため親戚中からは白眼視され、“拾ってきた子なんじゃないか”などと笑いものにされること
もしばしばだった。

そんな Diana の唯一の心の拠り所は、飼っている猫の Platt である。
この銀色の毛並みをした珍しい猫は、Diana が幼い頃、両親の南の国境巡視に付いて行った時に森
で拾ったもので、
Diana はその時両親とはぐれて薄暗い森の中で迷っていたのだが、たまたま見つけた銀色にぼん
やりと光る猫の後をつけたら、無事森の外に出られたのだった。

Diana は周囲に笑われながらも魔法の勉強を続けていたが、自分の部屋に帰ると Platt に話しかけ
ながらよく泣いていた。

その日も、授業が終って帰って来ると、Diana は泣きながら呟いた。
「なんでわたしだけ魔法の才能がないんだろう……」
『そんな事はない、やり方が間違っているだけさ』
答えが帰って来るとは思っていなかったので、Diana はびっくりして泣き止んだ。
「誰...?」
慌てて室内を目で探すがどこにも人影はない。
気のせいかと思っていると、足元から声がした。
『ここだよ、ここ』
「え...Platt.....しゃべれたの...?」
Platt は初めて森の中で出会った時のように、ぼんやりと光を発していた。
『私の名は Christopher。どうやら君には魔術師ではなく魔法使いの才能があるようだ』
男性の声で喋る銀色の猫はこう言った。
『私が君に魔法の使い方を教えよう』

Christopher (Platt)

Diana の Familiar。
何者かに力を封印されて猫の姿になってしまったという、自称元魔法使い。
RP 的には Knowledge 等は全部こっちが喋る。
その内力が少し戻って来たと言って、Improved Familiar で Silvanshee になります。
時々力が封印されていたアイテムとかを手に入れて、能力とかが降って来ると嬉しいです。

Data

Trait

- Warded against Witchery (Campaign)

森で迷った時とか？

- Reactionary (Combat)

Deity

Alseta The Welcomer

歳月の移り変わりや門戸の神。

一般的には Teleportation や Magical Gate の神として信奉されている。

([tp://pathfinder.wikia.com/wiki/Alseta](http://pathfinder.wikia.com/wiki/Alseta))

Skill

Knowledge(Arcane, Local, Planes), Spellcraft と後 Player's Guide に書いてあるので Linguistics と UMD は頑張ります。

(Arcanist は何故か UMD が Class Skill)

Feat

使うかもしれない Core 外 Feat

- Reach Spell (APG)
 - range を増加させる Metamagic。一段階増加させる毎に SL+1
- Piercing Spell (UM)
 - SR check +5 の Metamagic。SL+1
- Persistent Spell (APG)
 - SR を二回振らせる Metamagic。SL+2

Arcanist

Spell

- Spell List : Wizard/Sorcerer と同じ
- Spell Cast : 準備した中から Spontaneous
- Spell Slot : 回数が Wizard で上がり方が Sorcerer
- Spell Known : max5

Arcane Reservoir (Su)

3+1/2 lv の magical energy pool を得る。

1pt で spell cast 時に CL or DC を 1 増加させる。

Consume Spells (Su)

move action で spell slot を費やして Arcane Reservoir を増やす。(最大 3+lv まで)

Arcanist Exploit

Arcane Reservoir の使い道その他。基本は 1pt 消費。

取るかもしれないもの

- Dimensional Slide (Su)
 - 10ft/lv dimensional move as part of move action (count as 5ft)
- Item Crafting
 - Bonus Item Creation Feat
- Metamagic Knowledge
 - Bonus Metamagic Feat
- Metamixing (Su)
 - Metamagic の casting time を伸ばさない
- Potent Magic (Su)
 - CL or DC +1 +2
- Quick Study (Ex)
 - 準備呪文覚え直し
- School Understanding
 - one of 1lv arcane school ability, 3+Cha (fe. Admixture)
- Spell Disruption (Su)
 - dipel magic Check, supress Cha round

関連 Feat

- Expanded Preparation : Spell Known 追加
- Extra Arcanist Exploit : Exploit 追加
- Extra Reservoir : +3 reservoir

元ネタ

Christopher Chant

ダイアナ・ウィン・ジョーンズのクレストマンシーシリーズに出て来る魔法使い。

九つの命を持つ大魔法使いであり、様々な並行世界の魔法を監視する“クレストマンシー”の役職にある。

次元移動が得意で銀が弱点であり、良く騙される。

DM memo

Counterspell の Exploit は無し

Christopher の命 2

- 死んでも生き返る (+2 回)
- Spell-like の SL+2
- Lay on Hands+2d6, +1/day
- 9LV 以降、Diana の LVup 時 2 つ追加で呪文を教えてくれる。これは Wizard の LVup 時の追加呪文と同じように、呪文書に写すコストは必要無い。